



社会福祉法人 紀三福社会

「このまちで、いつまでも、自分らしく」という思いを含め、特別養護老人ホーム「紀三井寺苑」「紀三井寺苑ほほえみ」、デイサービスセンター「第二紀三井寺苑」、海南市下津町に有料老人ホーム「ひだまり」を運営しています。



「かもめ保育園」園内の様子。広々とした空間で快適に過ごせます。

「かもめ保育園」が併設されている「紀三井寺苑ほほえみ」。

子育てを理由とした退職を避けるため 職場内に企業主導型保育園を開設



事務局長 明寄真子 さん

若い職員からベテランの職員まで、女性職員は全体の7割を占めています。産休育休制度を利用する職員はいますが、子供の預け先がなく退職を余儀なくされたケースも多かったです。そのためキャリアある職員が安心して働けるような制度の導入を模索していた時に、企業主導型保育園について知りました。ただ保育所運営のノウハウがなく、自社で運営するのは心配だったため、外部委託という方法を取り、2017年4月に特別養護老人ホーム「紀三井寺苑ほほえみ」建物内に「かもめ保育園」を併設しました。主に0歳から2歳の子供を預かり、定員は12人です。定員に余裕のある時は地域からも受け入れています。開園時間は午前8時から午後6時まで、休業

日は日曜です。保育士は3人体制で、子育て支援員もいるので、手厚く質の高い保育ができています。私も子供が小さい頃は利用していました。保育園は家庭的な雰囲気、親としても安心して子供を預けられます。コロナ禍前は子供たちと施設利用者の交流も盛んで、子供たちをよく可愛がってくれていました。世代間交流もできる良い環境なので、設立して良かったと思っています。

また制度として導入しているのは「短時間正職員制度」です。子育てや介護といった家庭の事情で忙しい職員のため、週30時間以上の勤務で調整できる制度を作りました。子育ての場合、短時間勤務は法定内なら3歳までですが年齢制限を設けず、希望があれば承認しています。

育児関連制度に関する今後の課題は、保育園への受け入れ年齢です。卒園後はもちろんですが、小学生になると学童保育の問題も出てきます。そこを社内で解消できないかと考えています。常に人材不足の業界のため、経験ある人材の確保は必須課題です。結婚や出産、家族の介護や看病などで、キャリアをあきらめてほしくありません。職員のライフスタイルの変化に合わせて、長く働き続けやすい福利厚生制度を今後も整備していきます。

現場の声

企業主導型保育所を利用している
森 樹里さん(看護師)

「施設内にある保育園に子供を預け、安心して仕事しています」

2人の子育て中に、託児所がある職場を探していたところ、当福祉会が企業主導型保育園「かもめ保育園」を運営していることを知りました。2020年に入社した際は2歳と1歳の子供を預け、現在は3人目の子供がお世話になっています。保育士さんたちはとても親切で、安心してお任せしています。子供たちも保育園で過ごす

のが大好きなようで「休日も行きたい!」というほどです。保育園がある同じ建物で仕事をしているので、子供に何か起こった時は、すぐに対応できるのが助かります。仕事の合間にはこっそり様子を見に行くこともあります。安心して仕事に集中できる環境で、育児との両立もできています。



解消したい課題

子育てを理由に退職する女性職員が増えていた

- 常に人材不足の業界のため、経験ある人材の確保は必須課題だった

課題への取組

ライフステージに合わせた勤務ができるように職場改革を実施

- 職場内に企業主導型保育園を開設
- 週30時間以上の勤務で調整できる短時間正職員制度の導入

導入の成果

女性職員の定着率が向上した

- 育児と仕事の両立が可能となった



課題解決までのプロセス

小学生が楽しく体験する 「紀三井寺苑ふれあい教室」

現在はコロナ禍のため活動を中止していますが、「子供たちの居場所づくり」を目的に「紀三井寺苑ふれあい教室」を月に一度開催していました。地域から小学生を招き、職員が企画した料理教室や工作教室などを行いました。また夏休みには施設内の喫茶コーナーで職業体験企画も実施し、小学生が簡単なメニュー作りや接客を頑張りました。施設利用者との交流もあり、楽しい時間でした。



子育て支援に つながる CSR活動

「コロナ禍が落ち着いたら、ぜひ再開したいです」(明寄さん)



業種 介護事業 所在地 和歌山市紀三井寺560-2 TEL 073-448-2255

E-mail info@kisan.or.jp

従業員 正規161名(男性59名・女性102名) / 非正規77名(男性12名・女性65名)

結婚・子育てのための取組 育児休業、企業主導型保育園、短時間正職員制度など



WEB <https://www.kisan.or.jp/>